

## 会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（10月定例会）
開催日時	平成29年10月16（月）14時00分から16時20分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：内田議長、木下副議長、岩崎委員、川原委員、攝賀委員、 沼本委員、長谷川委員、服部委員、原委員、原田委員、 矢野（真）委員、小林委員、矢野（尊）委員 事務局：岡本課長、神田係長、奥住主事 傍聴：2名
議題	(1) 放課後子供教室事業について (2) その他
配布資料	資料1 平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会開催概要（予定） 資料2 平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会実施要項（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成29年9月の定例会議の会議録について、承認する。</p> <p>(1) 放課後子供教室事業について</p> <p>●事務局より、今後のスケジュールについて提案及び確認。</p> <p>○議長：本日はこれまでの調査報告を参考に、少人数に分かれてワークショップの形でテーマごとに検討したい。テーマとして「運営体制について」「人材確保」「連携づくり」の3つを例示しておく。ただし、これはあくまで例なので、これに囚われずに議論をしてもらいたい。</p> <p>●3グループに分かれてワークショップを行った。 《グループ分け》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Aグループ：岩崎、内田、木下、攝賀の各委員</li> <li>・Bグループ：川原、沼本、長谷川、服部の各委員</li> <li>・Cグループ：原、原田、矢野（真）、小林、矢野（尊）の各委員</li> </ul>	

●その後検討内容についてグループごとに発表をした。

※検討内容

○Aグループの検討項目：

学習機会、安全管理、周知、居場所、学校との連携・協力、行政、人材

《主な意見》

課題とその解決策について話が出た。

学習活動の機会提供については、機会を多くした方が良いのではないかと、企画の充実や内容の豊かさの充実がより必要という話が出た。

安全管理については、安全の確保をどうしていくのかについて、学校の協力については、学習機会をつくる上での、実施場所の確保の協力について意見があった。

周知については、保護者からの実施要望は必ずしも強くはないという意見があったが、周知が徹底されていないためではないか。また、各学校施設開放運営協議会（以下「運協」）の施策理解も課題であると言える。人材については、複数の課題の中心に位置する問題なのではないかと考えた。安全確保、学習、見守り等多岐にわたった人材の確保が必要である。また、予算のことなど、行政側の支援体制についても意見が出ていた。

これらの課題に対して解決策を考えたところ、学習機会については、地域の生涯学習との調整や地域資源との連携が挙げられた。安全管理については、民間委託等で人材不足の解消を図れるのではないかと意見があった。周知に関しては、運協同士の情報交換をもっと活発化した方が良いという意見が出た。学校の協力や公共施設との連携として、公民館や行政にコーディネーター役をとる意見や、近隣の公共施設とのネットワーク化など、様々な意見が出た。

○Bグループの検討項目：

行政、人材確保、運営体制、連携づくり、子ども、親の認識

《主な意見》

例示された3つのテーマを含めて、提言をまとめる際にどのようなテーマ立てを提案できるかという観点で議論を進めたが、ここに収まらない「行政」「子どもとの関わり」「子どもと親の認識の問題」の3つのテーマが重要という意見が出た。

この施策を推進する上で重要なのは、やはり行政だという意見が出た。子どもとの関わり及び親の認識の問題については、どうしても親からすると、託児場所という印象が強いという意見が出た。放課後の子どもの居場所問題は今後考えなければならぬ重要な課題であると思う。我々が推進しようとしている放課後子供教室事業が、地域の実態に本当にあっているのかの調査が必要だと思う。実際に事業に従事されている方はボランティアであるが、仕事量がそれなりにある。また、運営体制や人材の問題に関わることだが、今後引き続きこの事業を担ってくれる人材を確保することも重要な課題である。

○Cグループの検討項目：

人材、運営体制、連携、その他

《主な意見》

予め例示された3つのテーマを中心に話を進め、運営体制や連携についての現在の

問題点について整理をした。解決策までは議論が及んでいない。運協は各校で違いがあるものだが、共通の課題もある。運協独自で実施しているような形のところもある。また、組織としての機能強化も今後検討する必要があるのではないか。人材については、全校共通の大きな課題であるという認識が強い。連携については、運協の独自性が強いところ、行政と連携しているところ、他の機関と連携しているところと様々である。今後は個性を活かしながら、18校全体が平準化されるような整備が必要だと思う。他には、名称が「運協」が良いのかという意見も出た。放課後子供教室とはいえ、大人が関わる場ということについても検討が必要だと思う。社会教育の場と福祉の考え方を整理することがあっても良いと思う。あとは、用語について共通理解を持ち議論を進められたら良い。また、西東京市の放課後子供教室をどのようにしたいのか、どこを目指すのかという共通認識を持ちたい。社会教育委員としてそのあたりも含めて提言できれば良いと思う。

- 委員：意見が多いから重要な課題であるというわけではなく、内容から今後の検討項目を議論していくことが必要だと思う。
- 委員：18校全てで同じことを同じように実施するのは難しいと思うので、それぞれの個性を考慮しつつ議論を進めたい。
- 委員：どんどん変わっていく参加者ニーズに応えられるような運営体制の整備を目指せたら良いと思う。
- 議長：3グループの議論の様子から、現時点での仮のテーマ立てとして「行政」「子どもと親」を追加したらどうか。
- 議長：本日のワークショップで出された意見については、事務局でまとめたものを次回会議で確認することとする。

## (2) その他

### ①平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について

●事務局より、資料1に基づき説明及び確認。

- ・日時…平成29年11月25日（土）
- ・会場…小平市なかまちテラス（小平市仲町公民館・図書館）
- ・参加委員…7名

### ②平成29年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会について

●事務局より、資料2に基づき説明及び確認。

- ・日時…平成29年12月2日（土）
- ・会場…たましんRISURUホール（立川市）
- ・参加委員…4名

### ③第48回関東甲信越静岡社会教育研究大会静岡大会について

●事務局より説明及び確認。

- ・日時…平成29年11月16日（木）、17日（金）
- ・会場…プラサヴェルデ沼津（静岡県沼津市）
- ・参加委員…8名

#### ④平成29年度第1回学校施設開放運営協議会連絡会及び研修会について

- ・日時…平成29年10月5日（木）午前10時から
- ・会場…保谷庁舎4階研修室
- ・参加委員…4名

#### ※研修内容についての委員の報告

- 委員：参加して良かった。放課後子供教室事業が教育支援にどのようにして貢献しているのかを示してもらえたと思う。
- 委員：子どもへの接し方についてとても勉強になった。地域の大人が、子どもたちの将来の人間関係のモデルになるという話がとても印象的だった。「他者」「他人」の見方についても勉強になった。
- 委員：子どもは体験することで主体性が培われることや、地域の方は親ほど近くはないが全くの他人ということではなく、絶妙な距離感だからこそ、子どもにしてあげられることがあるということがよく分かった。また、「触れる」という動作の大切さや影響を知った。放課後子供教室はどのような状態で実施されるのが良いのか等を考える機会になった。
- 委員：実際に放課後子供教室事業に関わっている人も多く参加しており、良い研修会であった。
- 議長：それでは以上で本日の社会教育委員の会議（10月定例会）は終了する。

※次回会議 平成29年11月13日（月）午後2時から